

令和元年度事業評価 課別評価シート

【福祉部 国保年金課】

目次

- | | |
|------------------|------|
| 1 各事業の進捗管理 | P. 1 |
| 2 【生活福祉】分野の事業の評価 | P. 2 |

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
生福04-01	ジェネリック医薬品の普及

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

◀ 検討の視点 ▶

課題の洗い出し

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度（事業実績の推移）
- 左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
（例） ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分

【方向性の類型】

- 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの
- 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの
- 終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの
- 現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの
- 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの
- 終了済 → 昨年度までに終了した事業

1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号		事業名		中間アウトカム				
生福04-01		ジェネリック医薬品の普及		生活福祉(C)				
				H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な 取組	差額通知の送付	件	2,490	5,091		7,581	12,000	
	医療費通知の送付	件	24,639	33,908		58,547	75,000	
事業費(千円)			372	149				
行政コスト(千円)			6,440			進捗の課題	無	
所要人員			0.206	0.214				
進捗の課題と改善策								

2 【生活福祉】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【福祉部 国保年金課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	2-3 生活福祉
将来像	だれもが住み慣れたところで自立して暮らせる、セーフティネットのあるまち

中間アウトカム(C) 区民の生活が、安定した社会保障基盤に支えられている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
生福04-01	ジェネリック医薬品の普及	国保年金課	被保険者の負担軽減と国民健康保険財政の健全化が図られている	拡充	拡充
前回の評価結果の内容	平成29年11月時点での使用率は53.53%と、国が示す「平成32年度末までに80%」とは依然として開きがあります。今後、希望シールの配布や区報・HP等による広報を引き続き行うとともに、医師会・薬剤師会等との連携を強化していきます。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	差額通知の送付回数を年1回から3回に拡充し、区報・HP等による広報を行った結果、平成30年9月時点の使用率は63.3%と前年度と比較して、約10%上昇しました。				
課題及び今後の方向性の内容	国が示す「令和2年9月までに使用率80%」とは依然として開きがあります。業務委託による効果分析に基づき、通知対象年齢の拡大や送付回数を年10回に拡充する等の見直しを図るとともに、引き続き区報・HP等による広報を行います。				

評価実施のチェックリスト

以下の各項目は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分